

『みのむしファッションショー』

菊陽町立武蔵ヶ丘小学校 3年 城 心望

1 研究しようと思ったわけ

みのむしの服をよく見ると、木の枝や葉っぱを使っている、色や形がちがいました。そこで、おうちにあるいろいろな材料でも服を作るのかなと思って、実験することにしました。

2 研究の方法

- (1) みのむしやみのむしの服を観察する。
- (2) 家にある材料3つと、服なしみのむし4ひきを虫かごに入れて様子を観察する。

3 研究の結果

(1) みのむしや服について

- 足は14本あり、葉を食べているとき、服から顔と体を少しだしていた。
- 服をきたまま動くときは、シャクトリムシみたいにぐにゃぐにゃ動いてはやかかった。
- 皮の中は、はだ茶色ぼくって、きれいだった。
- 服の下は、糞が外に出るように伸び縮みする袋になっていた。



(2) みのむしの服 実験

	実験1 (布系)	実験2 (植物系)	実験3 (文房具系)	実験4 (きらきら系)	実験5 (ふわふわ系)	実験6 (枯れ系)
準備した材料	ピンクの服とたこ糸とつまようじ	庭にあった葉っぱと草と紫色の花	ノートの切れ端と、えんぴつ、けしごむのかす	キラキラテープと折り紙とストローの切れ端	綿とガーゼとティッシュを切ったもの	いつもどおり枯れ葉と枝と木の皮
5日後	服の下に服を作っているようでおもしろい	2ひきぶらさがっていた。花と草がとてもきれい	紙の下にかくれていた。動きはなかった。	かくれているが、服は作っていないかった。	みんな綿の中に入った。雲のかたまりみたいだった。	大きい服もあったし、普通の服もあった。
好きな服 ◎○△	◎	◎	○	△	◎	◎
写真						

(3) みのむしの大好きな服を決めるために、6つの実験で、みのむしがよく使った材料(布+糸+綿+枯葉+木の枝+草)とみのむし6ひきで、最後の実験をしてみた。

準備	1時間後	2時間後	1日後	1日と1時間後
	糸と布で服を作っていた。葉っぱや木の枝をさわる。 	頭を綿に入れていた。布を着たみのむしが動いていた。 	上にぶらさがっているのがいた。他のみのむしも服を作る。 	4ひきぶらさがり、服がつながっていておもしろかった。 

★ みのむしが一番好きな服は、「ぬの」だった。(綿も少し好きだった。)

4 研究のまとめ

- 予想どおり、布系の材料はやわらかいので、すぐ服をつくることがわかった。
- 予想とちがいで、ふわふわ系も服を作った。布と同じで、やわらかい材料は好きだと思った。
- きらきら、文房具系は服をあまり作らない。硬くて光るものは、作りにくいのかなと思った。
- 布はすぐにくるりと丸めていたので、簡単に服を作ることができる布が一番好きだと思った。

